



第4章 参考資料

木津川市生涯学習推進計画 きずなプラン



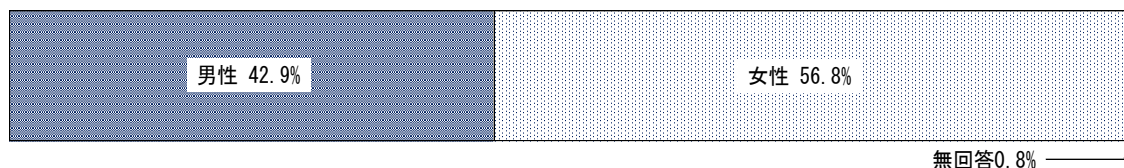
第4章 参考資料

1 市民アンケート調査結果

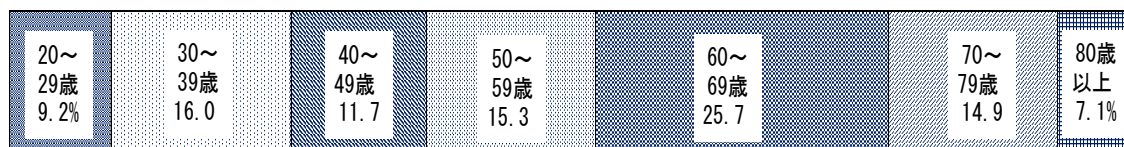
生涯学習に関する市民の皆さんの意識や考え方、生涯学習への取組み状況やニーズ等について把握するため、「生涯学習に関するアンケート調査」を実施しました。平成24年2月1日から2月20日までを調査期間とし、無作為に抽出した20歳以上の市民2,000人（男女各1,000人）に調査票を郵送し、無記名による自記式により実施しました。

調査票回収数	692枚
調査対象数	1,996人 ※転居先不明等により戻ってきた調査票4枚
有効回収率	34.67%

(1) 性別

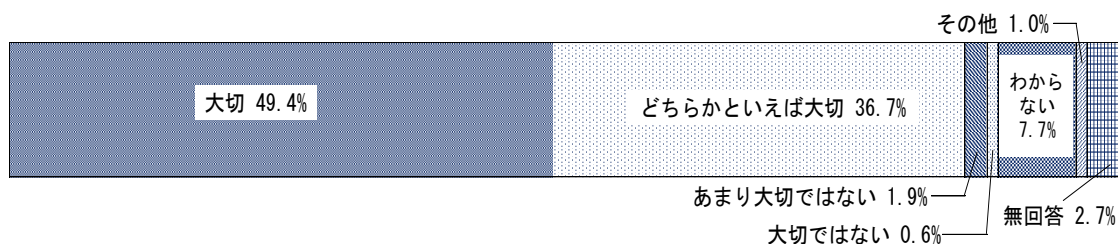


(2) 年齢



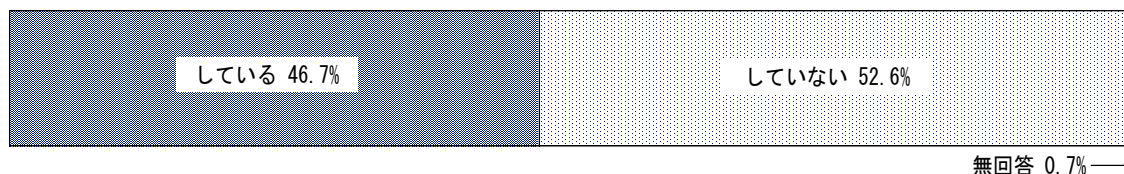
(3) 生涯学習の大切さ意識

生涯学習は大切だと思いますか（該当するものに○をつけてください）



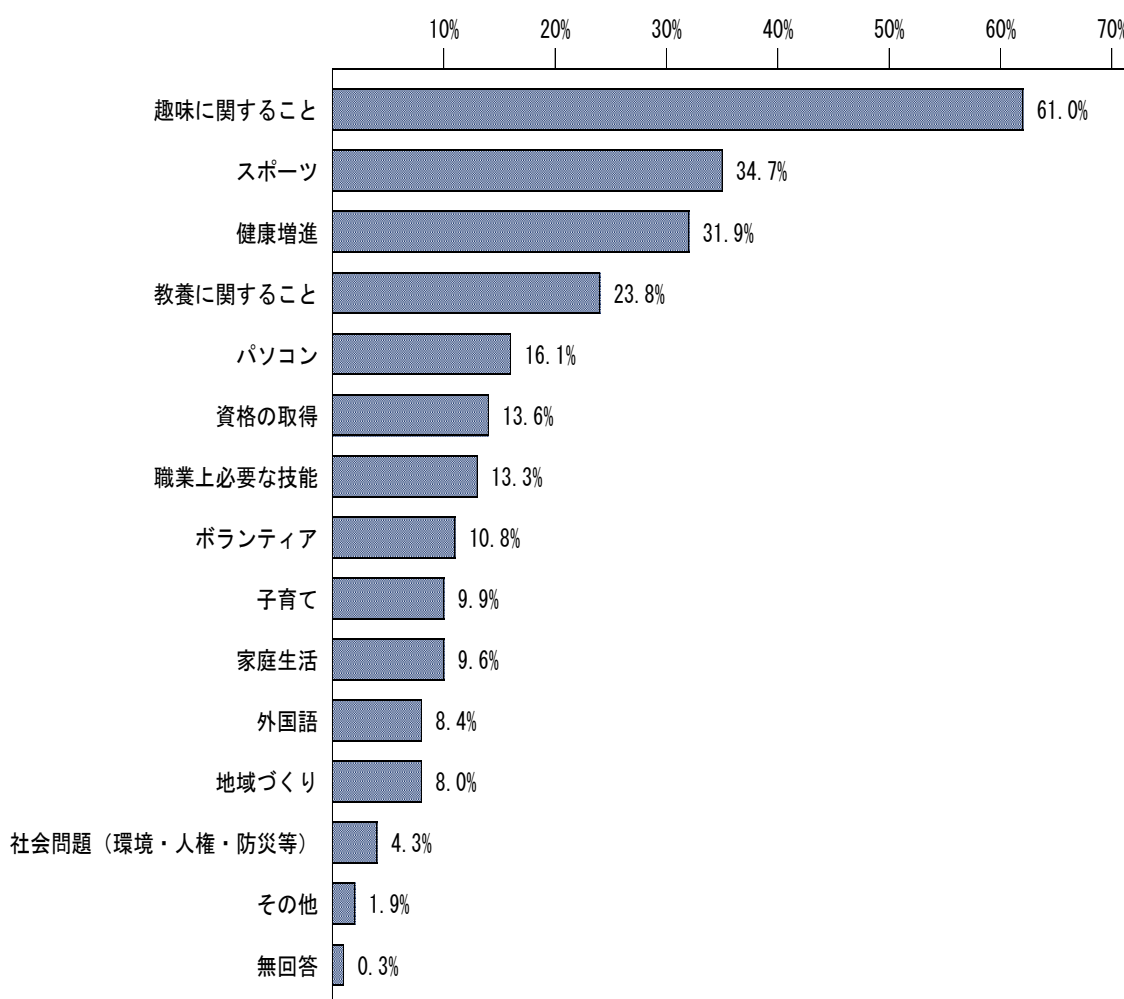
(4) 生涯学習活動状況

あなたは生涯学習の活動をされていますか（該当するものに○をつけてください）



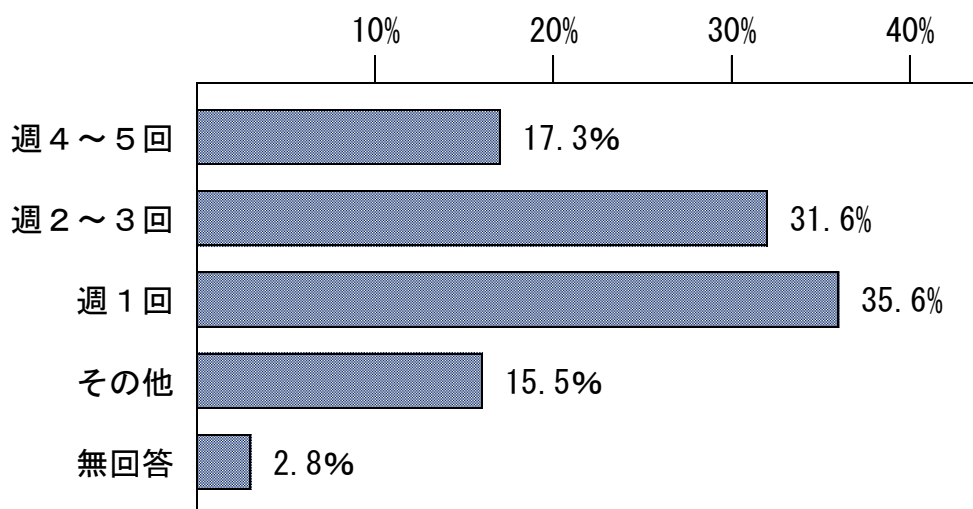
(5) 生涯学習取り組み内容

【生涯学習活動をしている方にお聞きします】どのような内容に取り組んでおられますか（該当すべてに○をつけてください）



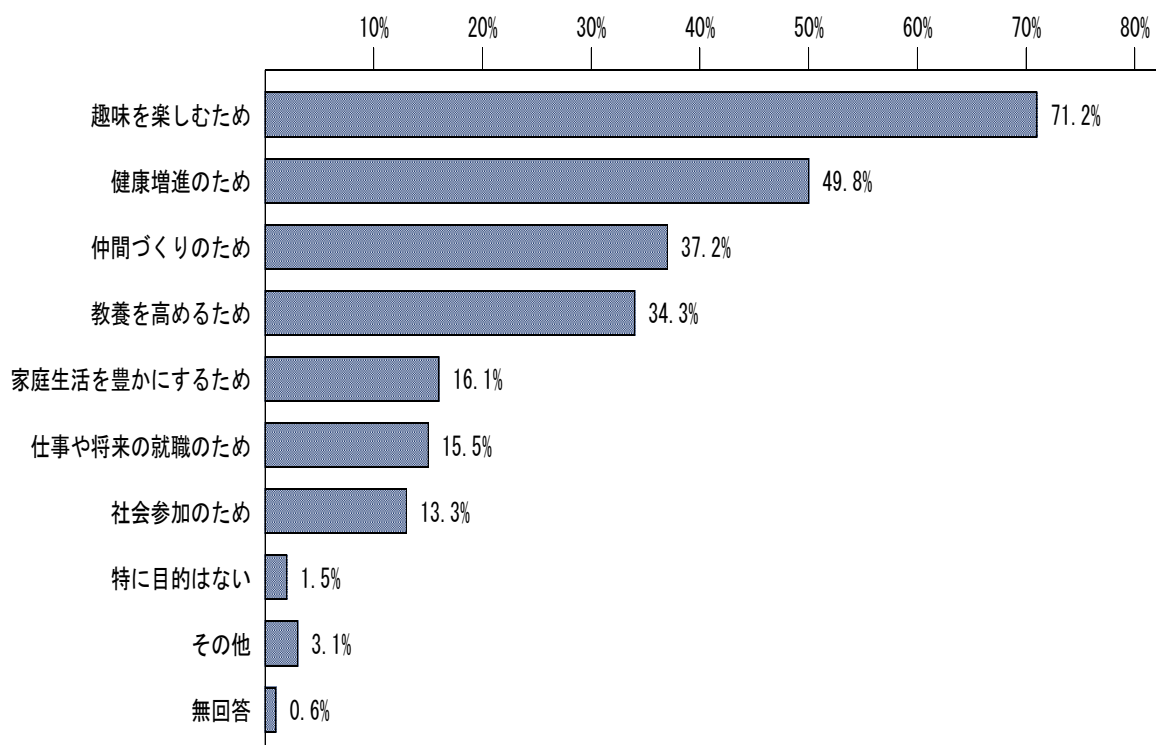
(6) 生涯学習取り組み頻度

【生涯学習活動をしている方にお聞きします】生涯学習に取り組んでいる頻度はどの程度ですか（該当すべてに○をつけてください）



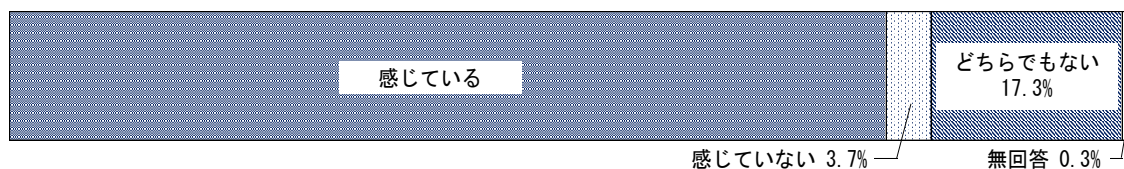
(7) 生涯学習に取り組んでいる目的

【生涯学習活動をしている方にお聞きします】どんな目的で生涯学習に取り組んでおられますか（該当すべてに○をつけてください）



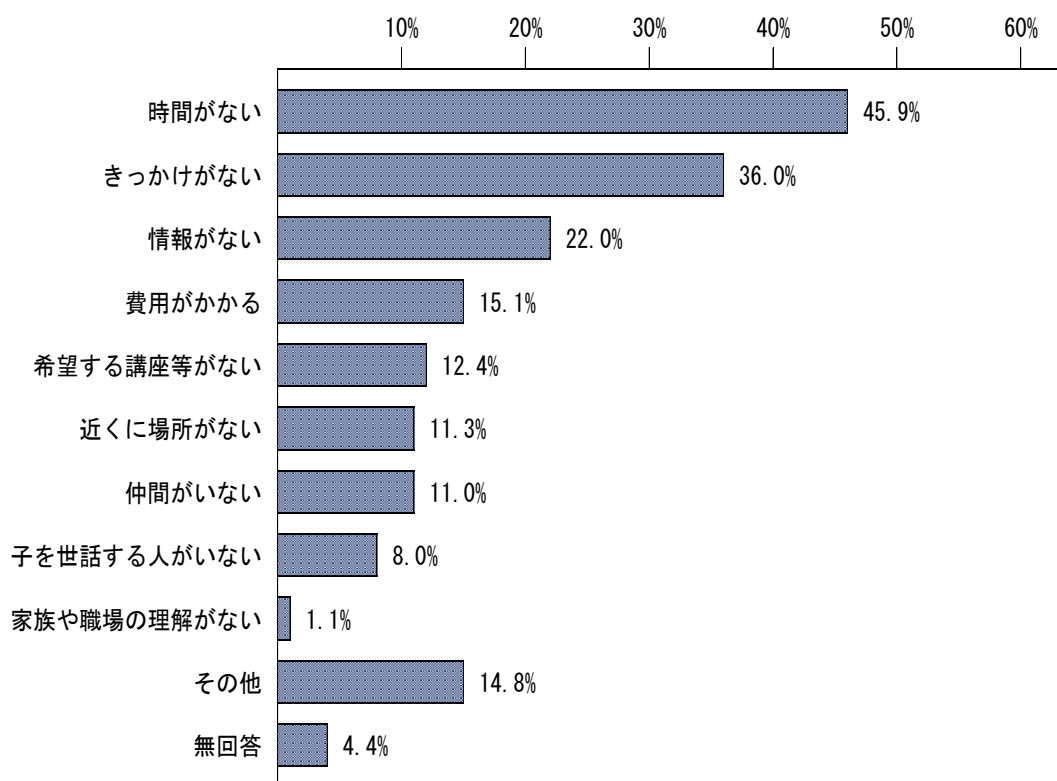
(8) 生涯学習取り組みに対する生きがい意識

【生涯学習活動をしている方にお聞きします】生涯学習の取り組みに生きがいを感じておられますか（該当するものに○をつけてください）



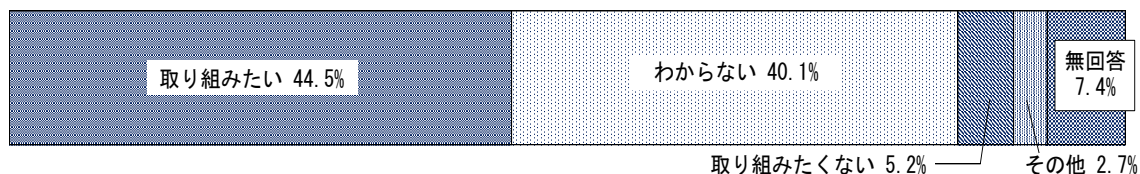
(9) 生涯学習に取り組んでいない理由

【生涯学習活動をしていない方にお聞きします】生涯学習に取り組んでいない理由は何ですか（該当すべてに○をつけてください）



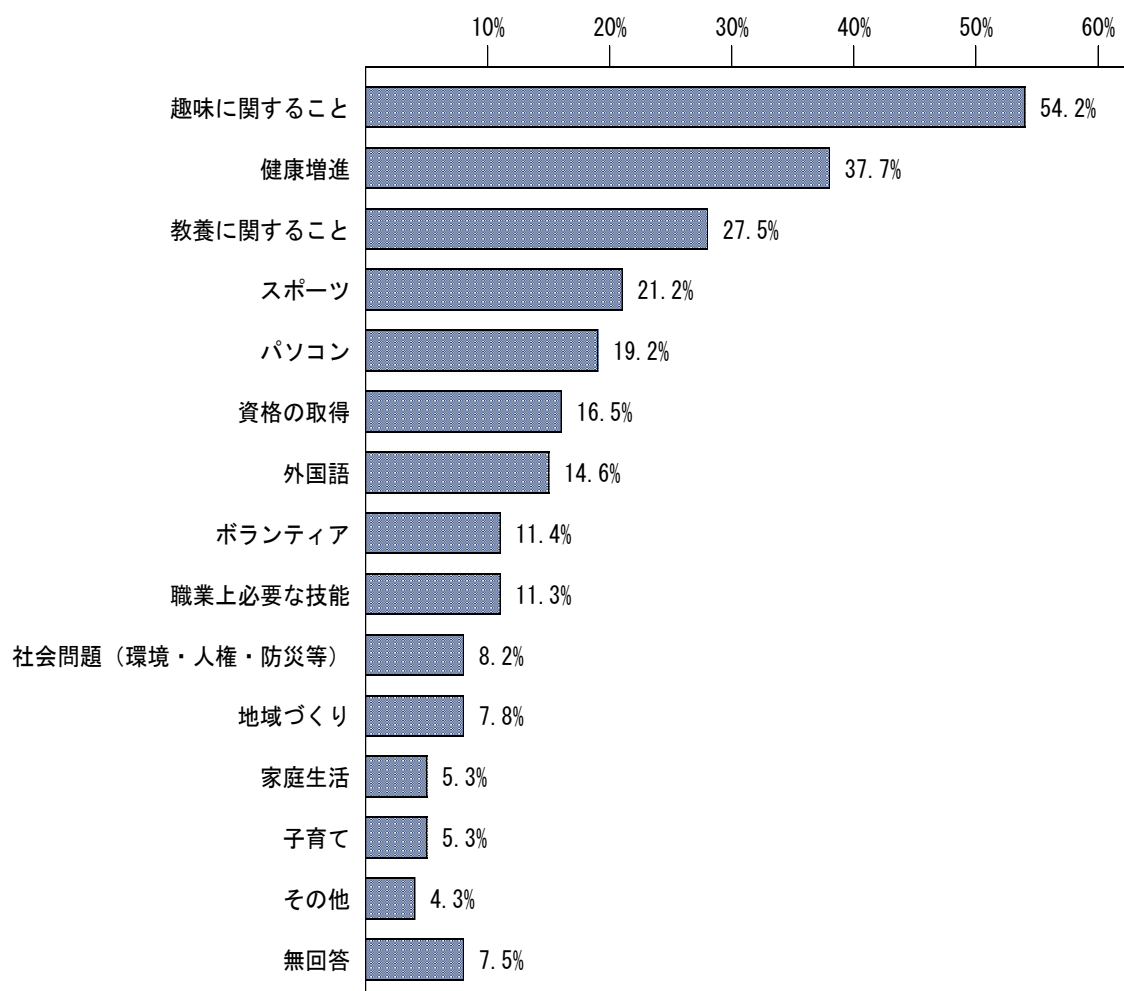
(10) 課題が解消された場合の生涯学習取り組み意向

【生涯学習活動をしていない方にお聞きします】課題が解消されれば生涯学習に取り組みますか（該当するものに○をつけてください）



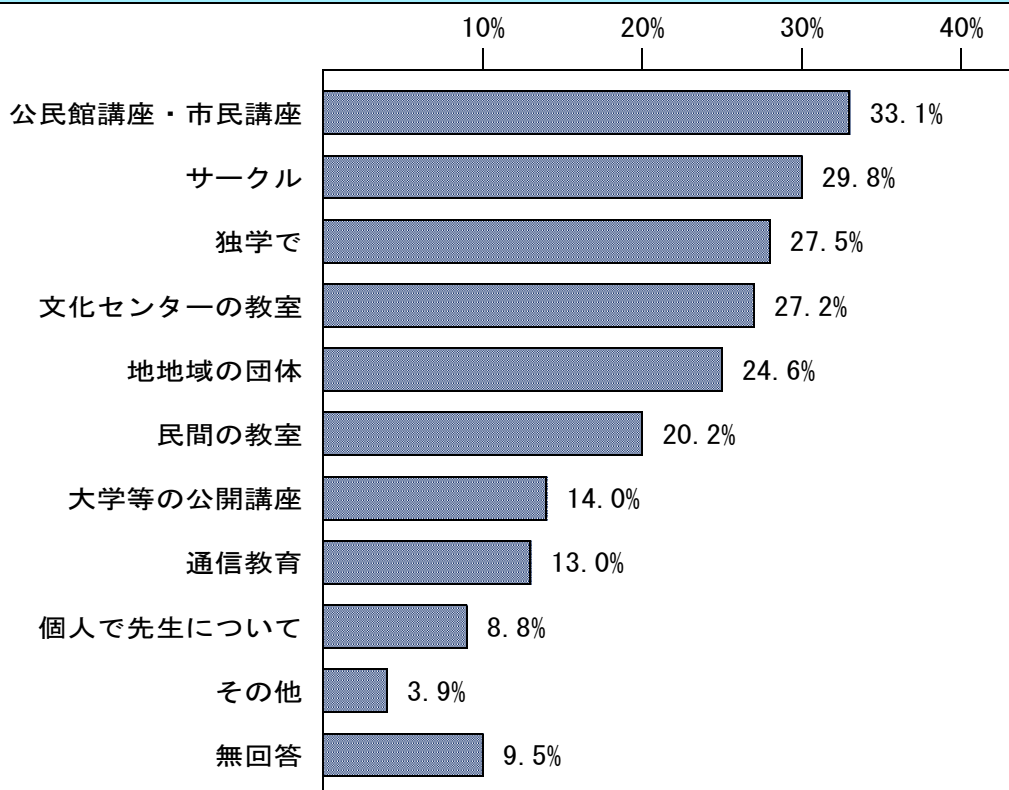
(11) 今後学びたいもの

今後学びたいものはどれですか（該当すべてに○をつけてください）



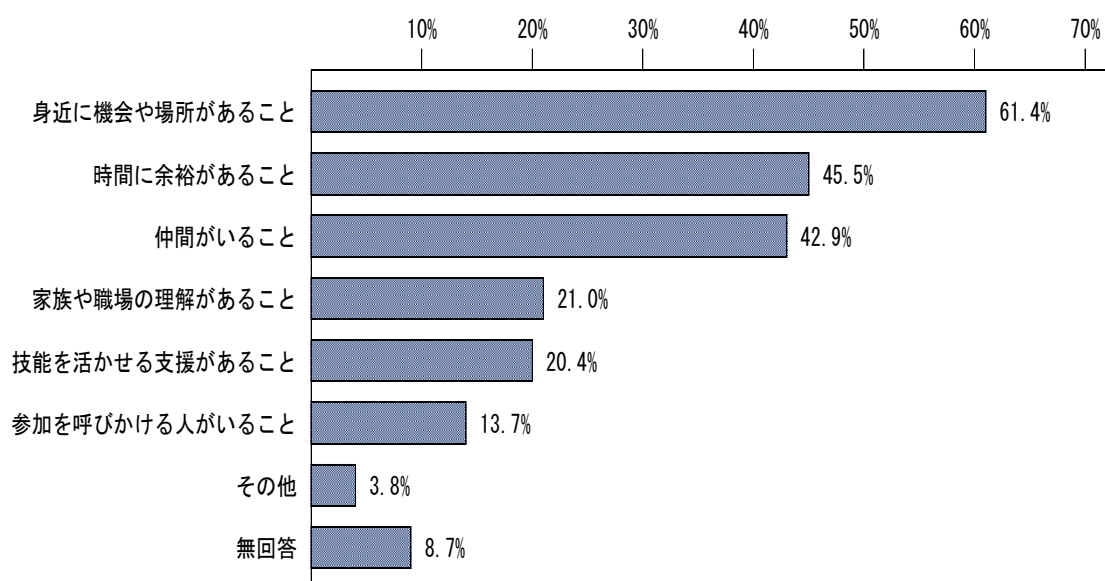
(12) 学びたい方法

今後どんな方法で学びたいですか（該当すべてに○をつけてください）



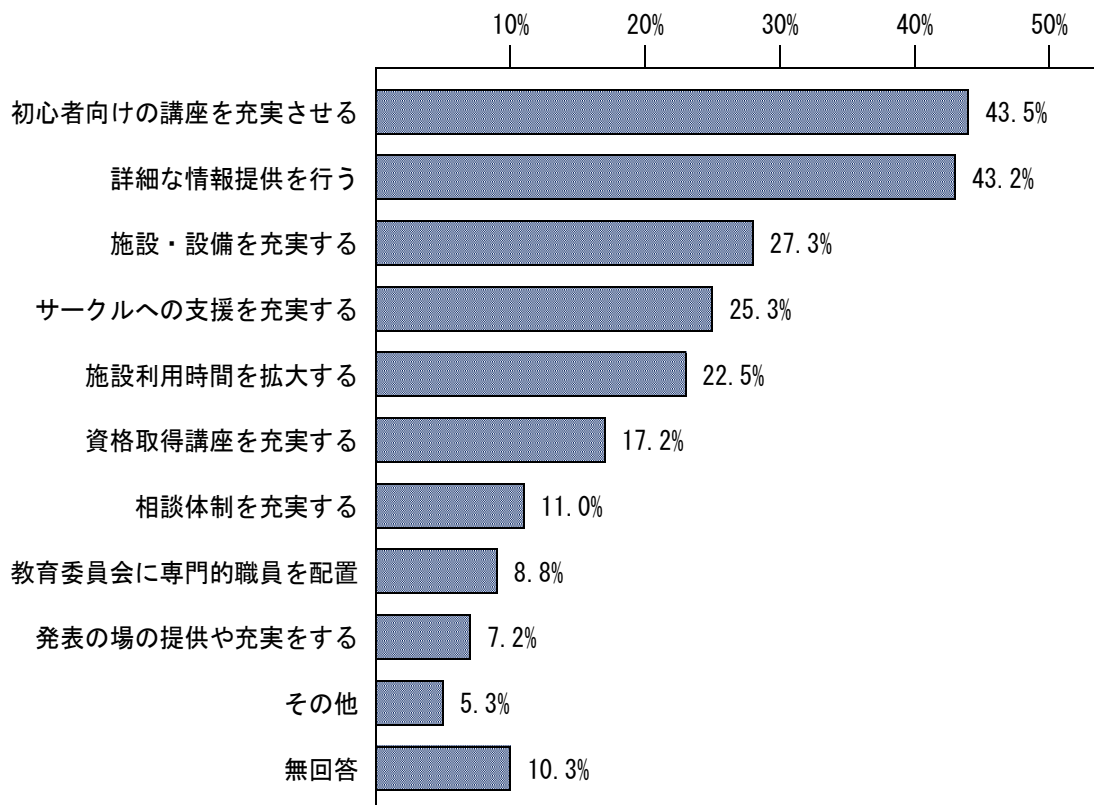
(13) 学んだ知識や技能を活かすために必要なこと

学んだ知識や技能を活かすために必要なことは何ですか（該当すべてに○をつけてください）



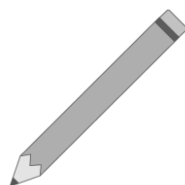
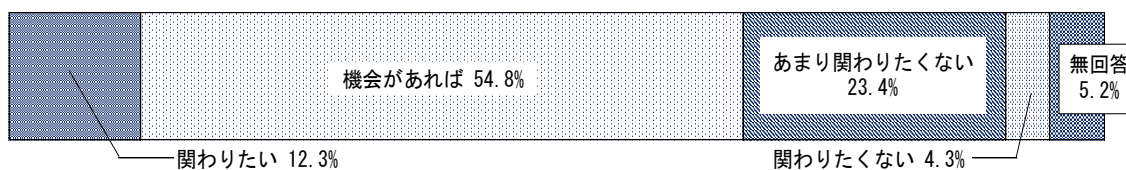
(14) 生涯学習の充実のために必要と思うこと

生涯学習の充実のために必要なことは何だと思えますか（該当すべてに○をつけてください）



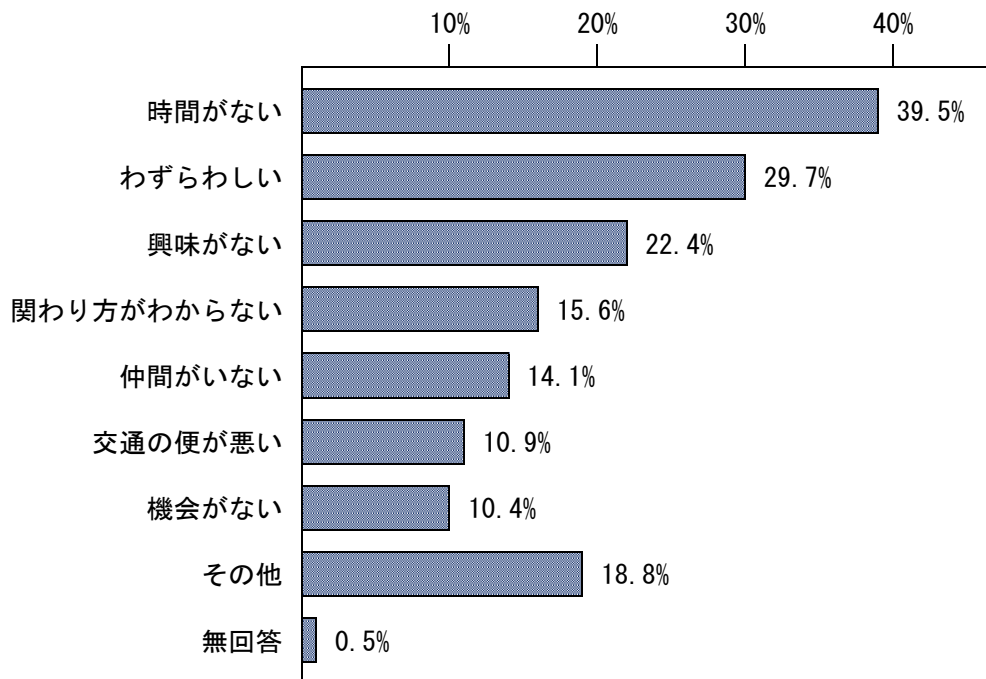
(15) 地域づくりへの関わり意向

今後、地域づくりに関わりたいと思えますか（該当するものに○をつけてください）



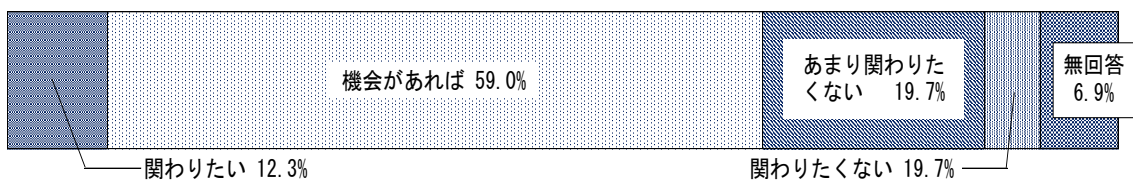
(16) 地域づくりへ関わりたくない理由

【地域づくりに関わりたくない方にお聞きします】関わりたくない理由は何ですか
(該当すべてに○をつけてください)



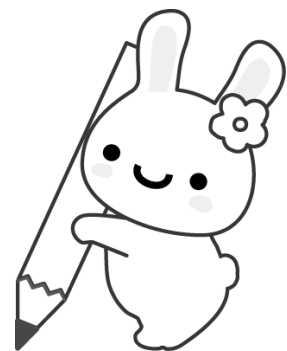
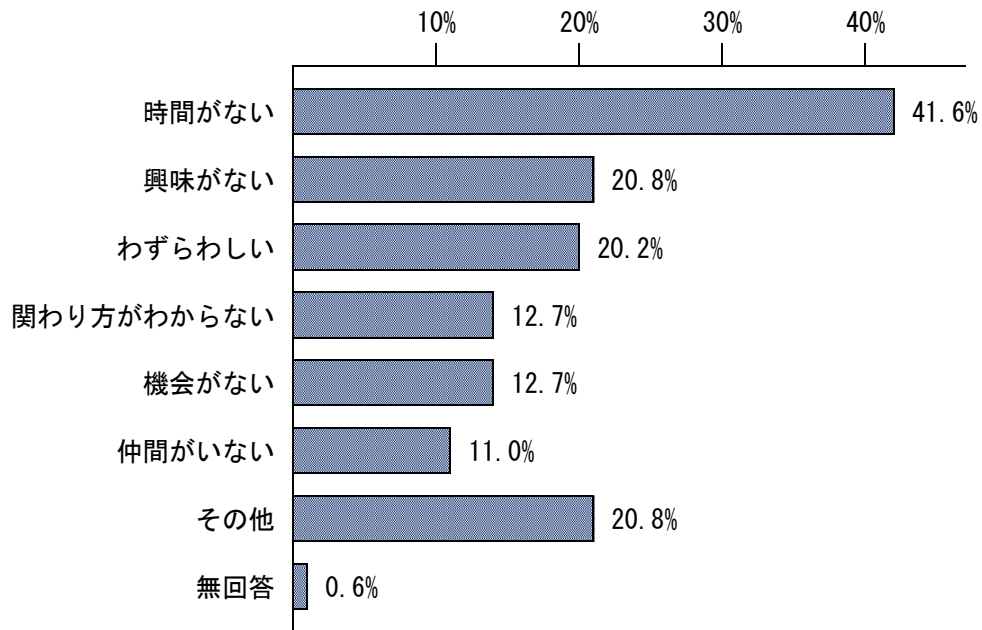
(17) ボランティア活動への関わり意向

今後、ボランティア活動に関わりたいと思いますか (該当するものに○をつけてください)



(18) ボランティア活動へ関わりたくない理由

【ボランティア活動に関わりたくない方にお聞きします】関わりたくない理由は何ですか（該当すべてに○をつけてください）



2 公開シンポジウム開催結果

開催日時 平成 25 年 6 月 29 日（土） 午後 1 時 30 分～4 時 15 分

会場 木津川市中央交流会館多目的ホール

参加者 61 人

基調講演

〈ローカルな知〉を掘り起こすこと ―今、地域で学びあうことの意味―

講師 京都大学教育学部 前平 泰志 教授

- ・「ローカルな知」とは何かというと「井の中の蛙大海を知らず」という言葉をご存知でしょうか。ではそれに続く言葉をご存知でしょうか。「されど空の青さを知りけり」です。視野の狭さを皮肉った言葉に対し、井戸の中でも見えるものがあるんだという反論です。これが「ローカルな知」の原点です。
- ・私たちの教育は「いつでも」「どこでも」通用する知識が尊重されています。学校教育は「ローカルな知」を消し去るものです。方言で作られた教科書はありません。「ローカルな知」を消しゴムで消していくことが大人になることだと考えられています。
- ・教室はのっぺらぼうな空間だと思います。月曜日の 1 時間目は国語、2 時間目は算数と決まっています。4 月に桜が咲くと言いますが、沖縄では夏かもしれませんし、北海道では雪が残っているかもしれません。ところが学校は一律です。学校以外は非教育空間だと考えられています。学校以外でも人はどこでも学ぶことができます。
- ・南山城村の野殿童仙房でフィールドワークをしています。街灯や信号がないので夜は真っ暗です。暗闇をなくしていこうとするのが哲学ですが、暗いことがそんなに悪いことでしょうか。暗いからこそわかるものもあります。近畿で一番星がきれいな地域に選ばれています。
- ・魚の切り身が海で泳いでいると思っている幼稚園児が多いそうです。私たちの感覚や体を通じて発見できる学びは学校ではできないものです。足を使って歩き回ると歩くことで地域独自の匂いや自然の変化を感じます。体で触れる体験が大切なんです。
- ・本日の資料の最終ページは白紙にしています。後は皆さんに書き記していただきます。生涯学習に答えはないんです。すべての人に当てはまる答えは、すべての人が不満を持つ可能性のある答えなんです。私たちが生きていくためには学ばざるを得ない。だからこそ知恵を出し合い、よりよいまちづくりを目指していければと考えています。



パネルディスカッション

●木津川市文化協会 岩井 照芳 氏

木津川市文化協会は5年前に山城町・木津町文化協会が合併して誕生。お互いのサークルを知るため、小さな発表会事業に取り組んでいます。見たことがないサークルの発表や展示を見ていただけるなど、サークルには励みとなっています。

●木津川市公民館サークル連絡協議会 林 知子 氏

公サ連は、南加茂台公民館を中心に始まり、そこで生まれたサークルが公民館とともに発展してきました。何でも自分たちでやらないといけないという意識で取り組んできました。組織としては成熟しているので、今後もまちづくりにつなげられれば。

●木津川市体育協会 藤本 真由美 氏

スポーツは地域との関わりを持つきっかけになったものです。体育協会では市民大会や教室などの他、施設への感謝から清掃活動も行っています。体育協会から素晴らしい選手も出てきています。市民運動会は、施設面や駐車場の問題はありますが、1か所で開催することになりました。

●ボーイスカウトきづがわ第1団 荒堀 淳嗣 氏

子どもたちに生きる力、人間力をつけるために活動しています。リーダーの基本はまず子どもたちを褒めること。よく頑張ったねと褒めることで将来のローカルな知をつけていくんです。野外活動を通じてローカルな知を作っていくのがボーイスカウトです。

●かも野外音楽フェスタ実行委員会 前田 裕也 氏

今年で14回を迎えました。中・高の吹奏楽部や合唱団、音楽団体に実行委員会を結成しています。活動の中で、一人ひとりが全員のことを考えて行動しないといけないこと、人と人とのつながりの大切さなどを知りました。

●木津川市生涯学習推進計画策定委員 金井 麻希 氏

市民の目線で計画づくりに関わりたいと公募委員に応募しました。子育てやスポーツの経験から地域との関わり大切さを知りました。子育ての中で、子どもの学力よりも大切なものが忘れられているのではと感じます。市民の希望を計画に反映できればと考えています。

質疑応答 (一般参加者からの発言・⇒は発言に対する回答)

- この計画は誰を対象としているのか。家庭教育、学校教育、社会教育すべてか。
⇒対象はすべての人で、教育と名のつかない場面も学びの場だと考えています。
- 障がい者に全く触れられていない。障がい者の生涯学習をどう考えているのか。
⇒生涯学習はすべての人が対象です。障がいのあるなしに関わらずすべての人が取り組むのが大切だと思っています。
- ローカルを重要視するという話だったが、グローバルの方が大切である。
- グローバルも大切かもしれないが、ローカルこそ大切なものだ。

3 関係会議等開催日程

開催日	会議名等	主な内容
平成24年8月23日	第1回策定委員会	諮問、策定スケジュール検討
10月26日	社会教育委員会	ワーキング作業について検討
11月28日	第2回策定委員会	フィールド調査検討
12月19日	第1回ワーキング委員会	フィールド調査内容検討
平成25年1月11日	社会教育委員会	フィールド調査方法検討
1月20日 ～2月20日	フィールド調査	市内各地（41の団体・関係機関・施設・学校等を対象に実施）
2月22日	第2回ワーキング委員会	フィールド調査結果集計
3月28日	第3回策定委員会	フィールド調査結果検討
6月29日	生涯学習推進事業公開シンポジウム	基調講演、意見発表、質疑応答等 （参加者61人）
7月11日	第3回ワーキング委員会	計画素案作成
7月26日	第4回策定委員会	計画素案検討
8月8日	第4回ワーキング委員会	計画素案修正
10月2日	第5回ワーキング委員会	計画中間案検討
10月11日	第5回策定委員会	計画中間案決定
11月6日	政策会議	計画中間案決定
12月9日～ 平成26年1月8日	パブリックコメント	意見提出者2名（4件）
1月10日	第6回ワーキング委員会	計画案検討
1月15日	第6回策定委員会	計画案決定、答申
2月3日	政策会議	計画決定
2月20日	教育委員会定例会	計画決定

4 木津川市生涯学習推進計画策定委員会委員名簿

役職	氏名	所属等
委員長	前平泰志	京都大学教育学部長
副委員長	高原和子	木津川市社会教育委員（副委員長）
委員	岡田敏	木津川市社会教育委員
委員	岩井照芳	木津川市文化協会会長
委員	川口和彦	木津川市公民館サークル連絡協議会会長
委員	市川孝司	木津川市体育協会会長
委員	金井麻希	公募委員
委員	大西茂	木津川市教育部長 ※平成24年度
委員	森本直孝	木津川市教育部長 ※平成25年度

5 木津川市生涯学習推進計画策定委員会ワーキング委員名簿

氏名	所属等
武田正一	木津川市社会教育委員（委員長）
松原利行	木津川市社会教育委員（副委員長） ※平成24年度
高原和子	木津川市社会教育委員（副委員長）
木村勝	木津川市社会教育委員（副委員長） ※平成25年度
葛谷高明	木津川市社会教育委員
武田博利	木津川市社会教育委員 ※平成25年度
岡田敏	木津川市社会教育委員
川畑佐代子	木津川市社会教育委員 ※平成24年度
福井美保	木津川市社会教育委員
三上かず子	木津川市社会教育委員
森本茂子	木津川市社会教育委員
花田康子	木津川市社会教育委員
米田崇	木津川市社会教育委員 ※平成25年度
井上若菜	木津川市社会教育委員
渡邊素子	木津川市社会教育委員
河村保	木津川市社会教育委員 ※平成24年度
森岡康彰	木津川市社会教育委員 ※平成25年度

木津川市生涯学習推進計画

平成26年3月

発行 木津川市
編集 木津川市教育委員会社会教育課
所在地 〒619-0286
京都府木津川市木津南垣外 110-9
TEL 0774-75-1233

